

質疑応答概要

TRC北千里共同事業体		
No.	選定委員	TRC北千里共同事業体
1	<p>児童センターの「その他運営内容について」に「学校・保育園や学童、他施設との連携」というところで、「そういった子供の健全な育成と、子育て家庭の支援をして、学校や幼稚園、保育園等から情報収集し運営に活かす」という記載がされているが、具体的にどういう情報を収集し、それをどう事業に活かしていくのか。具体的な情報は何かと決めるわけではなく、児童センターであるとか、地域の各関連施設がスムーズにするための、その間のパイプのようなことか。</p>	<p>12番目の児童センターということで、ネウボラという言葉で、吹田版のネウボラを見せてもらう中で、地域の中の幼稚園、保育園、それから小学校、出来れば中学校という中での繋がりで、何をもちて情報収集するかというのは、人との関係を作る中で信頼関係を持って進めていきたい。その核とまでは言わないが、つなぎ目となれたらと思っている。</p>
2	<p>保護者のボランティアというのは、具体的にどのようなことをしていただく予定か。</p>	<p>保護者のボランティアということで、今回の施設自体が、多世代の方の交流というのが大事なテーマで上がっているので、例えば児童センターであれば色々なイベントを行ったり、子どもの学びの場を、という説明を先ほどしたが、そういったところで保護者の中で、例えばこういったことが得意な方がいたら、ぜひ御協力いただけませんかという形で、お声がけをさせていただいたりと考えている。例えば音楽を演奏するから、ピアノを習ったことある方がいたら、一緒に弾きませんかという形で助けていただく。それから一緒に参加して楽しんでいただく。こういったお声がけをして一緒に巻き込んでいくことを想定している。</p>
3	<p>決算書の内容について、構成団体Bの決算書で、「受注損失引当金」というのを2020年と2021年にあげているが、2019年はあげていない。なぜ2020年からあげたのか。内容はどのようなものかというのは個別（注）に書いているので大体わかったが、なぜ2020年からあげたのか分かれれば教えてほしい。</p>	<p>2020年から管理を受託した物件で、执行的に収入よりも支出の方が大きくなるような形になってしまうが、新しい仮の手法ということで試し始めたために、この年度から収支が赤字になる物件が発生した。そのため、この項目を設けた。</p>

4	<p>提案書にある自主事業の部分について、知育教室を構成団体Aが提供されるということだが、知育プログラムとなると、特定の理念や思想に偏りが無いか問題になるかと思う。そのあたりのことと、他の知育プログラムの活用であるとか、他の団体の教育プログラムの活用などについても何か考えていることはあるか。</p>	<p>知育プログラムについては、私共が実際に実施をしているプログラムが既にあるので、まずはそれと比べて記載した。確かに、好き嫌いがあつたりとか、合う合わないがあつたりとか、そういったことはあるかと思うが、こちらのセンターで提供する際には、広く皆様に御理解いただきやすい形で、お伝えしていけたらなと、まずは考えていて、偏ったものをするというよりも、丈夫な体と優しい心といった、万人に御理解をいただけるようなプログラムとして、実践をしていくよう考えている。</p> <p>他のプログラムというものについて、決して排除するものではなく、皆様がどういったものに興味関心をお持ちであられるのかとか、そういったことを見させていただきながら、最適なものを、自分のものがあるから、自分のものしかやらないということではなく、皆様が必要とされるニーズのあるものを提供していく、そこは柔軟に考えていきたい。</p>
5	<p>子ども会議について、構成団体の実績を見ると、保育事業等にはかなりの実績があると思うが、学童以上の子供に対して、このような運営をするというのは、かなりのノウハウが必要かと思う。そのあたりのやり方、工夫について、どのように計画を立てているか教えてほしい。</p>	<p>現在、吹田市内で小学生以上の施設の運営を2か所で行っていて、子供に対する経験は多くはあるが、そこで小学生に対しても、というところで実績は重ねていている。</p> <p>また、スタッフの中にもともと学童施設での経験がある者等が複数名、実際に今在籍しているので、その者の経験してきた内容であつたりとか、私自身も学童施設の立ち上げにも深く携わってきていて、そういったところの経験、子供たちの声、思いを詰め込みながら作り上げて行きたいと考えている。</p>
6	<p>自主事業について、各プログラムにより1,000円～3,000円とあるが、参加費用というのは、例えば、5歳から小学生のプログラミング教室でも、1回参加するのに、参加する子供はそれなりのお金を払って参加するということがか。</p>	<p>まだ構想というか、検討段階のため、確定ということでは書いていないが、自主事業は、自主事業で独立して採算をとっていく必要があると認識している。そのためには、儲けるという発想はないが、先生を呼んだりする実費、プラスマイナス0円位に持っていける金額を、収集させていただくのがいいのかなという考え方について書いた。</p> <p>また、金額については妥当なものをこれから検討していく段階である。</p>

<p>7</p>	<p>色んな諸室の活用について提案されているが、この中で社会人の方のシェアオフィスについて、複合施設のどの場所を想定しているのか教えてほしい。          学生、大学生のオンライン就活及びWEB面接の場所というのもスペース的には同じか。</p>	<p>場所の想定は、1階の児童センターの北側の集会室があったと思う。          もともと仕様上でも、児童センターが閉館以降に、小中学生や中学生などを対象に、というような要件ではあったが、一つはそういった夜間開館をしているところ。多分この発想は、最近はまちなかのカフェとか、ほとんどがノートパソコンを開いて、そういう光景をよく目にするので、そのやり方とかは吹田市と相談しながらとは思いますが、そういったニーズは必ずあるのではないかという意味で提案をしている。          学生、大学生のオンライン就活及びWEB面接の場所というのも、スペース的には同じイメージをしている。あとは、諸室のフレキシブルな活用なので、当然2階の公民館、こちら指定管理者が使用する方法については、協議事項だと思うが、当然空いている部屋を活用するというイメージも持っている。          吹田市内の図書館では、自習室の設置が中央図書館のみに限られているが、やはり一定の社会人や学生から、閲覧ではない利用のお問い合わせをよく受けるケースがある。          ニーズとしてそういった声があるのかなと、常日頃から感じていて、先ほど説明したように、3室の部屋のフレキシブルな活用というところにヒントを得て、例えば公民館の空き室のある時間帯などを利用して、こういった運用ができればなということ提案をした。</p>
----------	---	---

<p>8</p>	<p>「みんなの調べる学習講座」という図書館でのそういったテーマ、調べ学習を業務の中でやるということだが、具体的には図書館の方がコーディネーターという感じになって、例えばどれくらいのスパンで調べて発表されるのかとかあれば教えてほしい。 実際に他館とかでこういった事例、半年間以上のプランとか実績があれば教えてほしい。</p>	<p>様々であり、元々は子供たちのための図書館の本を使った「調べる学習コンクール」というものがあるので、本当に子供向けの短いものでは一日。やりたいテーマを決めてA4一枚にまとめる。図書館の本を使って調べる、なんていうところからスタートがある。</p> <p>あえて大人たちでの「調べる学習」という提案をしているが、そういう意味では、コーディネーターの役割は当然私共がさせていただきながら、例えば月に1回、半年間で完成を目指すものなんていう、コースではないが、そういったこともあれば1年間かけることもある。若しくは、もう少し短いスパンで行う。そういったいくつかの選択があるかなと思っている。</p> <p>「調べる学習」については、今説明があったとおり、元々子供を中心にとすることで考えていたが、実は非常に大人の方、それもシニアの方の注目が非常に高くある。実際に過去に勤務していた図書館でも元々子供からスタートしたものだったが、最終的にはシニアの方中心の教室の方が非常ににぎわい、毎年リピーターの方がおいでになるような形で実施したことがある。その方の生きがいつくり、それからそういった自分の調べたものが、一つの冊子やレポートになった時の達成感を非常に感じておられたようで、場合によれば、こういったことをサポートするためのコーディネート役として、私たちの図書館のスタッフが入らせていただいて、一定の期間の講座として設けるようなケースもあるし、子供向きのものだと、夏休みの一日を使っての短期のものを行ったこともある。</p> <p>あとは親子での、親子一緒に調べるといったスタイルも作った。そういった教室も実施したことがある。子供と保護者の方が一緒になって、一つのテーマを探求していくというスタイル、非常に関心をいただいたので、ぜひこういったものでも、実施していけたらなと思っている。</p> <p>期間については、やはり一定の時期、1か月に何回か、その養成講座を行ったりとか、最終的なまとめまで、私たちがサポートさせていただくといった形で実施したく思う。</p>
----------	--	---

<p>9</p>	<p>自主事業について、先ほども実費負担に留めるという形でお話いただいたと思うが、自主事業収支計画書の内訳で、事業参加費が、例えば、令和5年だと139万2千円。一方で、支出で講師料、材料費が対応してくると思うが、約65万と倍近くになっているかと思うが、これはどのように理解したらよろしいか。</p>	<p>そういう意味では、講師料、材料費、実費、ここでの収支のプラスマイナス0というのは、整合性が取れていないかもしれないが、まずは収入について、例えば、提案した知育教育だったり、グループプライニング教室、算数・数学教室、大体年に何回、月に何回、開催して、大体何人くらいの人数に参加いただくかとういうことを想定したうえで、積算した数字ではある。支出についても、もちろん講師料、材料費等、企画に合わせて想定した材料費等は試算してはいる。最終的に自主事業のところで、大幅にプラスが出なくても良しとしようという意味合いで、こちらの自主事業の独立した計画を作成した。なので、先ほどの1,000円とか、3,000円とか、ちょっと材料費と見比べても高いんじゃないかという判断があれば、もちろんそれに見合った参加料を、設定させていただければと思っている。</p>
<p>10</p>	<p>「公民館運営実績が豊富な企業によるバックアップ体制」と書いているが、実際にはどのようなことを考えているのか。</p>	<p>こちらの団体については、私共の代表企業と付き合いのある団体で、吹田市内の貸館業務を中心とした施設の実績がある。具体的には、その団体は公民館、生涯学習に関するノウハウは非常に高いものを持っているので、例えば、事業の企画、若しくは公民館の実務そのもの、受付、予約とか、具体的な手法をノウハウとして持っているので、今話をしているのは、例えば月1回とか、打ち合わせ会議を設ける、若しくは2か月に1回か。そこで例えば、運営委員との付き合いの仕方、サークルのバックアップの仕方、新規に人をサークルに呼び込む方法とか、そういったノウハウを協力してもらう予定である。</p>

## 質疑応答概要

応募者A（次点者）		
No.	選定委員	応募者A（次点者）
1	会議室ドットコムを活用とあるが、公民館では企業等の営利目的での使用は難しいが、どう考えているのか。	会議室ドットコムは、企業のみならず一般の利用者様も使うツールである。しかし、会議室ドットコムの使用が不可欠という事であれば、実践しない。
2	収支計画書の光熱水費について、初年度が500万円、その次年度以降が800万円というのは、高いように思うが、どのような根拠で算出したのか。	既存のちさと(千里山・佐井寺図書館)の実績が同規模で、700万円だった。北千里図書館については、CASBEEのAランクの施設なので、既存施設と比べ、省エネ効果は高くなっていると思われるが、オープン当初はたくさんの来場者が見込まれることから、年間800万円という算出になった。
3	収支計画書の研修費予算について、図書館業務には詳細な記載があるが、後の2施設にはどのような研修計画なのか。	公民館に関しては、一般的な接遇研修、人権研修、他にマナー研修、電話研修等の予定となっている。児童館については、発達支援等の児童・幼児教育の専門的なノウハウなどについて研修を実施する。
4	自主事業について、市が行っている講座と内容が似通っているもので、市の講座では受講料は無料、自主事業では有料ということはないのか。	実施内容については被りの無いようにする。受講料については、利益を出さない程度で回収する。自主事業で利益を上げようという考えは無い。
5	グループで活動している方への支援をするとの記載があるが、具体的にはこういった支援なのか。	サークル活動を行いたい講師のできる方を近隣で探し、その講師の方に定期的な利用者が付くまでは自主事業という形で行い、講師と生徒の間で関係性ができれば、私たちの手を離れるような形。
6	コナミスポーツと近隣であるため、連携してとあるが、こちらも有料なのか。	具体的にこういったことをするかについては、協議事項だが、2階の会議室で教室等の開催を検討している。金額については協議をしながら、料金設定をしていく。

7	自主事業全般が収支計画書の利用促進事業収入に入ってくるという形なのか。	そうです。
8	週間行事計画における「リトミック」や「英語であそぼう」が、必要経費なしだが、どういう計画で考えているのか。	こちらは館の職員が行う。経費というのは講師料、人件費がほとんどのイメージだったため、そこがいない結果、経費無しとしている。
9	「コドモアトリエ」は、会費がかなりかかるようだが、金額の妥当性はいかがなのか。	基本的には講師料、材料費。利益の出ないような収支計画となっているので、通常よりも安価になっている。
10	「こどもプランナー制度」はどのような内容か。また、類似施設での実績とは具体的にどんなものか。	大人でいう「協議委員会」のようなもの。子供たちが毎週、毎月集まって、どういったことをやっていきたいかなどの意見を出し合い、作り上げていく制度。実績については、非常に長い歴史があり、これに参加していた子供が大人になって、地域の運営協議会に参加しているというような実績もある。
11	こどもプランナーは、大体何歳の想定か。	基本的には小学2年生～小学4年生。しかし、基本的には小学生を幅広く受け入れていく。他の施設では、中高生がリーダーになり、小学生を引っ張ってくれるという事例もある。
12	図書館業務について、市内の図書館と均一なサービスが重要なのはもちろんだが、複合施設ならではのプラスアルファのアウトリーチな業務はあるか。また、そういった業務は、人員的に可能か。	アウトリーチかという事で近隣の商店や、施設に指定した本を、期間を限定して置かせていただく。ただし、貸出は行わず、その施設内で読む形に限定をする。本の管理については、基本的には貸出先の施設スタッフに管理してもらい、本社にもサポートチームがいるため、定期的にそちらでも回るようにする。
13	全体総括者の方は、若いように見えますが、5年の継続した勤務は可能なのか。	可能です。もちろん会社なので、人事異動等には身を任せる形になりますが、その場合はもちろん同格の人間を用意する。

14	児童センターの人員配置で、水曜日の15時以降が3人体制となっているが、どうしてか。	基本的には、御指定がありました午前中に3人、午後4人という体制でさせていただいてるはずだが、ミス可能性がある。その場合は、必ず仕様書通りの人員配置をさせていただく。
15	図書館について、階段書架等、高所に書架が予定されているが、開架方法や展示方法といったことは具体的に検討されているか。	実際に施設を見た上で、開館準備の間に決定をさせていただく予定ではおりますが、かなり上の方までありますので、利用頻度の低い書物なども活用し、上の方にセットする。 ただし、高所に配架の場合は、出納票の様なものを作成し、どうしても貸し出してほしいとかいうことであれば、それに対応する環境整備を行う。
16	3つの機能が一緒になることによるメリット、計画などはあるのか。	各3社がそれぞれ共通認識を持つことで、利用者を待たせることなく、その場で対応できるように心掛ける。 特に各責任者クラスの職員は、インカムを着用し、常時、状況把握しながら業務にあたる。 自分のセクションにとらわれず、この複合施設を運営する意気込みで取り掛かっていく。

## 質疑応答概要

応募者B		
No.	選定委員	応募者B
1	類似施設の実績について、持管理業務であり、運営の実績はないということでしょうか。	児童センター、図書館については、維持管理の実績になる。児童センターの運営実績はないが、子育て相談業務の実績がある。児童センターを運営する上で、必要な人材育成するノウハウはある。 図書館については、運営経験はないが、実務については、市の図書館業務マニュアルを活用、アドバイザーボードの方々に、実務のアップデートやサービスのあり方をフォローしてもらい、市民公益サービスを行ってきた実績を掛け合わせて、新しい図書館運営ができ、実務に関しても、問題がないと考えている。
2	アドバイザーボードの位置づけはどのようなものか。委託の契約とかするのかが。	業務の委託ではなく、連絡してアドバイスを受けることになる。都度都度の謝金になると考えているが、当初は月に1度は行う。その後は、年度末に見直しをし、それに応じた対応をしてもらう。 遠方の方もおられるので、オンライン併用で実施を考えている。
3	入退出アプリについて、利用実績があるのか。カードの単価はどれくらいを想定しているのか。	主に関東地区で使われている。QRコードを打ち出すものなので、コスト的には安価である。利用者は、最大限の人数制限はないので、運営に問題ないと考えている。
4	個人情報の保護の目的外の使用禁止を「原則」禁止としているのはどうしてか。	非常事態を想定したもの。 警察、消防、病院等への情報提供は必要であるため、原則とした。
5	児童センターの相談業務の時間について、「保護者が常時相談できる窓口」とあるが、常時とは24時間なのか、児童センター開館時間中なのか。相談の手段はどう考えているのか。	公民館の開館時間までを考えている。 中高生については、自ら相談することは難しいため、職員とのコミュニケーションの中から、SOSをキャッチすることが中心となる。青年については、窓口に相談受付の表示をする。 年末年始を除き開館なので、誰もが一定の対応が出来るように研修し、経験を重ねていきたい。
6	体験教室とはどういう内容のものなのか。	月2回程度実施する予定で、季節の特徴を取入れた体験教室をしたい。

7	<p>各諸室を活用して幼児教室をするようだが、図書館だったら司書が行うなど資格有無等、幼児教室の役割分担についてどうなっているのか。</p>	<p>児童センターの職員で対応する。場所の違いだけで、児童センター職員が行う。</p>
8	<p>盛りだくさんの事業を入れているように感じる。その業務レベルを5年間維持できるのか。 資料のデジタルアーカイブなど、5年後に違うグループに運営が移った場合、成果物はどうなるのか。</p>	<p>業務レベルについては、アドバイザーに研修やアドバイスをもらって能力向上に努める。 デジタルアーカイブについては、独自だけではなく、他の自治体のものを共有する予定でいる。地域の写真を提供してもらい、図書館だけでなく、地域や博物館とも連携し、社会資源として活用すれば良いと考える。 事業者が変わった場合の引継ぎについては、吹田市の事務局と相談した上での引継ぎと考えている。</p>
9	<p>収支計画書の収入の推計根拠について、こどもクラブの会費は、事業計画書の定期的なクラブ活動のことか。主体者は誰なのか。 児童見守り子育てコンサルティングが委託料に積算されている。事業計画書でいうとどの部分なのか。</p>	<p>委託料は、児童育成について育成のコンサルティングを受ける予定。 こどもクラブの費用については、必要な対価を出してもらわないと継続できないと考えている。地元で活動している方を講師として考えており、謝金は吹田市の考え方に準じて行いたい。</p>
10	<p>3館融合事業と自主事業の違いは何か。</p>	<p>融合については館のコンセプトに従って行う事業。自主事業は収益を上げるもの。</p>

## 質疑応答概要

応募者C		
No.	選定委員	応募者C
1	公民館の予約システムについて、高齢者等の利用に関しての考えを教えてください。	利便性が上がるので、皆さんに使っていただけるようにサポートしていきたい。出来ない方には窓口で別途対応する。
2	収支計画書で、開館記念セレモニーに150万円とあるが、その内容はどのようなものか。	コンサート企画や地元の大学等と連携した催しなど、式典と催しをセットにしたものを考えている。内容は吹田市と協議していきたい。
3	決算書の受託事業損失引当金について、どういったものかを教えてください。	今すぐ詳細はお話出来ないが、長年運用していた事業を引き継ぐために人件費等を当社で負担して対応したものが上がっている。
4	公民館の貸館事業について、営利目的での利用についてどう考えるのか、マット等の備え付けの備品を誰がセッティングするのか。	営利の中でも福祉団体等への貸館など、団体の性格によって確認しながら対応する。備え付けの備品等は、基本は利用者様がセッティングするが、その都度、状況に応じて対応する。
5	本の福袋とあるが、これは販売するものなのか。	販売するものではなく、利用者様の不要になった古本をリユースし、福袋のようにして、他の利用者様へ新しいジャンルの本に触れるきっかけにさせていただく。
6	諸室のフレキシブルな活用の中で、夜間の中高生の利用に関しての安全策等を教えてください。	中高生の利用にあたっては、親御様がわかっている必要があり、年齢に応じて、同意書等を書いていただく。職員による巡回により、適正に利用されているかの把握も行う。

7	図書館の地域住民お勧め本コーナー、マイライブラリーとは、具体的にどういったものか。	図書館の一角にコーナーを設ける。期間を特定せず、大人から子供までの色々な方に本を紹介していただく。
8	自主事業で託児付き講座とあるが、具体的に教えてほしい。	育児等で息抜きの出来ない親御様に、託児によって講座に参加していただき、地域から孤立しないような機会を作る。基本的に有資格者が行う。無償で行いたいが、場合によっては有償もありうる。
9	地域に根差した公民館の役割について、どのように考えているのか。	吹田市と協議のうえ、地域の方の得意なことであったり、能力や経験を地域へ還元出来るような講座を行いたい。場合によっては企画・広報・運営等も地域の方と連携して行きたい。
10	図書館は、階段書架のように高所に資料が配架されるような作りになっているが、展示方法等、検討されているようであれば教えてほしい。	利用者の皆さんが探しやすいように、見出し版を付ける。管理運営している図書館の中での良い事例等を御提案させていただいて、良い環境を整える。
11	公民館は年配の方の利用のイメージがあるなか、子育て世代や働いている方、次の世代を担う方などを、どう公民館に呼んでくるのか。	小学生を対象として、漢検や空手等の講座を定期的に行ったり、地域で活動している方、学校のクラブをしている方をうまく取り込んでいく。企画に携わることで、居場所になる。長く時間をかけてすることで、大人になっても施設に関わって行ってもらう。

## 質疑応答概要

応募者D		
No.	選定委員	応募者D
1	高所の書架の配架方法や、安全面を考慮した図書館サービスについての対応はどうなっているのか。	高所は安全柵などで対応する。設置に関しても司書やボランティアによる巡回や、配架の際の補助を置き、人的なソフト面でも配慮をする。
2	一時預かり事業を実施する人員体制は、通常のスタッフ体制にプラスで保育士を配置する計画なのか。	児童センター職員を採用する際に、保育士の免許を持つ職員を多く採用して配置する。児童館の職員を中心に、資格を有するボランティアをプラスして、通常業務をしながら対応する。
3	思春期の子供を持つ親への支援について、具体的にどのような事業をするのか。	子供たちの発達段階によって、保護者の悩みも変わっていく。既に行っている活動の中で、小さな時から成長を追いながら、思春期までフォローアップができています。それ以外に、お悩みを持つ保護者がおられるので、広く門戸を広げ、心理士など繋がりがあるので、専門家につなげたり、必要に応じて配置スタッフが対面で対応する。
4	公民館の利用者サービスを、ホームページでアップすることや、グループ活動の育成について、どのようなことをされるのか。	部屋の受付を早く正確に行うことや、空き室状況をできるだけ速くホームページにアップする。年2回程度、グループ連絡会を実施することで、運営方法や企画書の書き方、予算のことなどを学び合い、グループがより自立し、より広く活発に活動が実施できるようにサポートする。また、グループの悩み事などをみんなで考える場になるよう作っていきたい。
5	公民館のグループの支援は、「受付事務」の人が行うのか。	児童センターの職員や受付職員、総括責任者など、職員が対応する。
6	図書館業務開始までのスケジュールに図書の配架準備等が入っていないが大丈夫なのか。	本の配架は市が行うと、事前の質問の回答でもらっているが、必要ならば行う。

7	5万冊所蔵、専用延床866㎡という規模の図書館を維持するのに、人力的に大丈夫か。	必要に応じて、アルバイト等を採用しなければならないが、市から2名から3名の司書が配置されると聞いているので、それもプラスアルファして考えている。
8	自主事業の生活援助従事者研修事業とは、資格が取れ、どのように生かせるものか。	国に定められた介護員職員初任者研修の課程に則って行う。仕事にも結びつけられ、また介護にも役に立つ。
9	児童センターの職員シフトで、20時までの職員は、児童センターが閉まってからは、どのような業務にあたるのか。	その日の記録や翌日の準備をする。大学生等のボランティアや子供たちの見守りなどのリーダーの育成もできれば考えている。ボランティアリーダーのミーティング等を夜間に行う。
10	大学生のボランティアについて、提案書に記載はあるのか。	5ページ、7ページで、リーダーとしてキャンプ、読み聞かせ、外遊び等で活動してもらうことを考えている。ボランティアは大学生を想定しているが、休み期間については高校生も希望があれば参加してもらいたい。家族では対応できないこと等、大学生と触れ合うことで、良いロールモデルになってもらえればと考えている。
11	月間行事の記載が6か月分だけの記載だが、どのように考えているか。	自由遊びであるとか、子供たちの自主的な遊びを重視したいと考えている。行事をするからには意味づけをして、目的を持って行いたい。月間プログラムのない月は、子供たちのやりたいことを取り上げて、実施したいと考えている。
12	図書館のSNSでの発信について、具体的説明を。	若い人はInstagramで情報を収集すると聞いているので、Instagramで本の紹介や感想を載せたりすることで、いろんな世代の人が本に関心を持つ機会になるよう考えている。

## 質疑応答概要

応募者E		
No.	選定委員	応募者E
1	提案書にある図書館精通グループは、どういう団体か。 図書館窓口リーダー及びサブリーダーは、図書館での実務経験が無いようだが、市内の図書館と同レベルのサービスが提供できるのか。	大学の元教授でドクターの資格を持ち、図書館の実務ではなく、公民館長をしているもの。
2	提案書組織図の中にある「施設管理監」は何者なのか。職員配置計画表でいうと誰になるのか。	設備管理を統括する役割です。
3	顧問として弁護士、司法書士、税理士、社会保険労務士と書かれているが、4人を雇用するのか。司法書士についてはどのような懸念があってお願いするのか。仕事を委任するのか。	何かあったときに相談するもの。 司法書士に具体的に思い当たることは今は無い。
4	看護師や医師による支援体制とあるが、これはどういうことか。常駐するのか、報酬を払うのか。	契約して常駐してもらうということではない。何か起こったら、ボランティアで相談に乗ってもらう。
5	公民館の部屋割りは、特定の1人で行うという意味なのか。	事務員は1人の予定で、その任務にあたる。
6	「公民館長を配置します」と記載があるが、管理運営基準に記載のとおり、市職員の公民館長がいる中で、指定管理者は、市職員の公民館長とは別に公民館長を配置するのか。その場合、市職員と指定管理者の業務の切り分けはどのように考えているのか。重ならないのか。	総合責任者が施設の責任者として公民館も担当するので、役割は重ならないと考えている。
7	「e.自主事業」の「1.寺子屋事業」について、中学生を指導する高校生はボランティアなのか。子供が子供を教えることにはトラブルがつきものだが、どんな体制を考えているのか。	現在他で実施している無料塾と同様、スタッフの中には教員免許を持っているものが入って指導する。高校生は学びに来る学生であり、指導するのは元教師です。

8	<p>公民館業務に従事する職員（2人）について、1日【10時～18時】と記載があるが、公民館業務については夜間22時までであり、18時から22時は誰が対応するのか。アルバイトや非常勤ということか。</p>	<p>公民館の22時までについては、公募して体制を整える予定。常勤は1名で18時まで、あと2名で交替してカバーしていくことを考えている。</p>
9	<p>児童センター館長と副総括責任者は同一人物なのか。児童センター副館長と同一なのか。 ローテーション表に厚生児童員、児童員とあるのは主任児童厚生員と児童厚生員のことか。</p>	<p>管理運営協議会の記載通り、児童センター館長は副総括責任者で、副館長を別に配置します。 ローテーション表は記載違いで、指摘の通りです。</p>
10	<p>この規模の図書館を運営するのに、人員の的に大丈夫か。</p>	<p>市の職員も6名配置されると聞いている。館長と常勤3名分で回すという計画。</p>
11	<p>受付に目安箱を置くとともにITシステムで瞬時に要望をキャッチとあるが、どのようなシステムか。</p>	<p>受付に目安箱を置いて、利用者からの要望を週単位で分析することを考えている。 ITシステムについては熟知していない。</p>